

第21回 B I R D 脳科学セミナー

「ストレスによる脳機能変容の生物学的基盤」

演者: 古屋敷智之 先生

神戸大学大学院医学研究科 薬理学分野

教授

日時: 2019年 7月 5日 (金) 16:30 ~

場所: 葛飾キャンパス、講義棟 503教室

ストレスは体内外の侵襲や要求による心身の緊張と定義され、条件に応じて多様な生体応答を引き起こす。例えば、短期的で克服可能なストレスはストレスへの順化や抵抗性を高めるが、長期的で過度なストレスは心身の機能を害し、精神疾患を含む多様な疾患のリスク因子となる。我々はマウスの反復社会挫折ストレスモデルなどを用い、短期的なストレスによる内側前頭前皮質のドーパミン応答がストレス抵抗性を増強すること、長期的なストレスによるミクログリアを起点とした脳内炎症反応が情動変容を促すことを明らかにしてきた (J Neurosci 2012; Cell Rep 2016; Mol Psychiatry 2018; Neuron 2018)。本セミナーでは、ストレスによる脳機能変容の生物学的基盤に関する最新の知見を紹介し、ストレス関連疾患の治療法開発への展望を議論したい。本セミナーは学部生、大学院生の聴講も歓迎します。

主催: 脳学際研究部門 (Brain Interdisciplinary Research Division)



世話人: 瀬木 (西田) 恵里

基礎工学部 生物工学科 1904

eri.seginishida@rst.us.ac.jp